

をしたことがなく経験不足、調整力の無さを申しわけなく思っています。

話が変わり、会計就任の自己紹介をします。私は、

勤務医15年と開業医23年をしました。開業後寺院と兼業しました。すぐに父の体調不良のため檀家さんの求める葬式などを行うだけでやっとなで、布教や教義を考える余裕はありませんでした。

仏教の教義に関連するとは何も書けませんが、寺を続ける困難は常を感じています。県仏通信を配る寺院の中にも続ける困難と直面している寺院があると思います。特に新潟県のように、過去に人口が多く寺が多く、その後人口が減った地域は継続が困難です。寺院が主の兼業から兼業の方が多くの時間を使うようになったり、住職も坊守も寺院以外の仕事をしているので檀家さんが来ても不在で寺に鍵がかかっている、そんな自坊の様などころがこれから増えてくると思います。一方で、働き方改革、

ハラスメント、考え方の自由化と多様化など、住職や坊守の生活環境を変えないと寺院が続かない(次世代の住職と坊守がいなくなる)と思います。

私が生まれた寺も、明治時代から継続危機が何度もありました。過労死基準を超える生活が長年続き、私も家族も人生をやつとやり切ったと思ひ昨年兼業を辞めました。過労による病気や精神異常にならなかつたのは、運が良かっただけだと思います。寺をなくさないのがやっとなです。これから、労働時間もストレスも無理せず、細く長く檀家さんが求める事(主に葬式)を続けることを目標にしています。

寺院を長く続けるには、。分業、自由、多様化、選択の自由、変化でしか。分業して長期休暇を取る、一日の拘束時間を減らす、他の寺院との経済の流動化を促す。労働時間制限、年給に相当する自由時間を労働法と同様に自由な日時に取得、考え方の自由、自坊外活動の自由は時代の流れ

で、むしろこれらができない環境の方が、罪悪や犯罪あつかいになってきていることも増えているようです。常に続くものはなく、無理は続かないと思います。寺院活動、様々な組織、制限する仕事などを自由に減らせないと寺院が次世代にわたり長く続けることは困難になってきているのではないのでしょうか？



この度、新潟県仏教会の事務局員を拝命いたしました、堀河如信と申します。

諸先輩方が築き上げてこられた新潟県仏教会の歴史と伝統を重んじ、その御意志を理解し、大切に引き継いでいければと思っております。

日々自分のことばかりで他宗さんのことを分かっていない部分がとても多い中、このようなお役をいただき、また関わらせていた

だいたことを幸いに思います。勉強させていただく機会を十分に活用させていただき、そこから新潟県仏教会のために今の自分に何ができるかを考えながら携わらせていただければと思っております。

事務局員としての業務は不慣れな点が多く、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一日も早く皆様のお役に立てるよう精一杯精進いたします。微力ではございますが、新潟県仏教会のさらなる発展のため、努力して参りたいと思ひますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



この度、事務局のお役を務めさせていただくことになりました、直江津仏教会の山崎と申します。経験が浅く、私に務まるのか心配ですが、日頃お会いする機会が少ない他宗他派の諸先輩方の皆様と交流ができる素晴らしい機会をいただき

るのではないかと有り難く思っております。

生活スタイルの変化や人口の減少に伴い、寺院行事のあり方も今までと大きく変わり、当たり前と思っていた感覚では間に合わなくなってしまうことが多々あります。各地方のご寺院の皆さまがどのように工夫をされて行事に取り組まれているのかを学ばせていただき、これからの時代に即した形で、私に何が出来るのかを考えていきたいです。

「県仏通信」の紙面を通して、皆様と多くの情報を共有させていただければ有り難いです。仏教会の更なる発展の為、微力ではありますが精一杯努めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。



はじめまして。このたび、新潟県仏教会の事務局を拝命いたしました、上越市にあります光源寺の堀前裕見と申します。現会長である願宗寺住職・西脇真成